

グループ名	ユニット名等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
ビジネス	2単位 経済	経済原論 I	山崎将太	1年次	秋

授業のキーワード	経済のしくみ・国民総生産 (GDP)・マクロ経済学
授業の概要・目的	一般に、経済学はミクロ経済学とマクロ経済学に大別されます。この講義では、マクロ経済学とよばれる分野の解説をします。
履修のアドバイス・前提科目等	予備知識は不要ですが、「日本の経済」を履修しておくとう理解しやすいと思います。経済の仕組みを学びたいと思う気持ちが大切です。図を多用し、数学は一切使いません。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	経済の仕組み	経済活動を行う、3つの経済主体(家計・企業・政府)について講義します。	第9講	貨幣需要	どのようなときにお金が必要となるのでしょうか？バッグや時計がほしいとき？いざというとき？様々な理由があるでしょうね。ここではそのような貨幣を保有する動機について説明します。
第2講	マクロ経済学とは	マクロ経済学が取り扱う範囲、分析手法などについて説明し、この講義全体の構成を説明します。	第10講	IS-LM・モデル1	IS-LM・モデル1
第3講	国内総生産 (GDP)と三面等価	経済活動の循環について説明します。	第11講	IS-LM・モデル2	第10講の続きです。
第4講	45度線分析1	第5講、第6講ではマクロ経済を分析するもっとも基本的な分析手法を学習します。	第12講	IS-LM・モデル3	第11講の続きです。
第5講	45度線分析2	第5講の続きです。	第13講	財政政策と金融政策	財政政策や金融政策とは何か、それぞれの問題点は何か説明します。
第6講	消費の理論	様々な消費理論について講義します。	第14講	失業と物価	失業と物価の問題について説明します。
第7講	投資の理論	投資とは何か、そして企業が投資を行う際に、どのような意思決定のメカニズムがあるのか、わかりやすく説明します。	第15講	試験	
第8講	貨幣供給	貨幣(お金)の発行についての講義です。貨幣を発行するとはどのようなことを意味しているのか、探っていきましょう。	評価方法		出席・平常点30%+定期試験70%
備考 (関連する資格・試験等)	講義は、標準的な経済学部の1年生が学習する内容で、経済学の初級レベルです。また、将来的に公務員試験、各種試験(中小企業診断士・証券アナリスト・公認会計士など)に挑戦しようと考えている受講生、経済学部への編入を希望する学生は特に受講することを勧めます。				
使用する教科書(必ず購入してください)			参考文献		
使用しない。毎回レジュメを配布します。			マンキュー,N.G.(2003)『マンキューマクロ経済学(第2版)1入門篇』東洋経済新報社。 ブランチャール,O.(1999)『ブランチャール マクロ経済		

	学（上）』東洋經濟新報社.
--	---------------